

SPAC 秋→春のシーズン 2019-2020 #4

グリム童話

～少女と悪魔と風車小屋～

Grimm's Fairy Tale -The Girl, the Devil and the Mill-

演出:宮城聰 作:オリヴィエ・ピエ 原作:グリム兄弟
訳:西尾祥子、横山義志 音楽監督:棚川寛子

出演:少女/演奏者 池田真紀子*
少女/演奏者 森山冬子*
少女/演奏者 鈴木真理子*
悪魔 武石守正
父親 大内米治
母親 貴島豪
庭師 大道無門優也
王様 永井健二
こどもの影 宮城嶋遥加
天使 若宮羊市

公演日程

◎一般公演

2020年1月18日(土)、19日(日)、25日(土)

2月1日(土)、2日(日) 各日14:00開演

◎中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」

SPACでは静岡県内中高生を対象に招待公演を行っています。

★の日程は一般発売のお席もございます。(枚数限定)

2020年1月14日(火)13:30★、15日(水)13:30、16日(木)13:00
17日(金)13:30、20日(月)13:30★、21日(火)14:00★、23日(木)13:30
★、24日(金)13:30★、27日(月)14:00、28日(火)10:30/14:00
29日(水)13:30、30日(木)13:30★

会場＝静岡芸術劇場

◎出張公演

2020年2月13日(木)、14日(金) 各日13:30開演

会場＝下田市民文化会館 ※一般販売なし



*静岡芸術劇場公演の少女役はトリプルキャストとなります。

1月14日～19日

少女:池田真紀子
演奏者:森山冬子、鈴木真理子

1月20日～27日

少女:森山冬子
演奏者:池田真紀子、鈴木真理子

1月28日～2月2日

少女:鈴木真理子
演奏者:池田真紀子、森山冬子

*中高生鑑賞事業・出張公演(下田)は、以下のキャストとなります。

2月13日・14日

少女:宮城嶋遥加
演奏者:池田真紀子、鈴木真理子

勇気と希望をくれる<奇跡>の物語——

トリプルキャストで挑む、8年ぶり待望の再々演!

『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』は、グリム兄弟の童話「手なしむすめ」を原作に、現代のフランス演劇界を代表する劇作家・演出家オリヴィエ・ピエが戯曲化したものです。「今、ここにある世界を奇跡として生きること」をテーマに展開される『オリヴィエ・ピエのグリム童話』シリーズ第1弾として1994年に発表。同氏による演出版は2009年と14年にSPACでも上演されました。

宮城聰演出によるSPAC版は11年3月に初演し、世代を超えて多くの観客に深い感動を与えました。翌12年1月に早くも再演、この度8年ぶりに待望の再々演を果たします。

2020年のスタートを飾る、本公演では、前回の再演に引き続き少女役を務める池田真紀子に加え、森山冬子、鈴木真理子によるトリプルキャストで上演いたします。また、下田市民文化会館での中高生鑑賞事業公演では、宮城嶋遥加を少女役に抜擢。SPACの若手女優たちが、<奇跡>をまとう純真な少女に挑みます。

珠玉の言葉が降りそそぐ——

ピエの詩的な世界を解き放つ、宮城の「弱い演劇」

「天から雨のように降ってきて、俳優と観客を同時に濡らしてゆく」と宮城が語る、ピエによる詩のような台詞の数々。宮城はその珠玉の言葉を、目的や欲望を果たすための道具としてではなく、自律した生命体として捉えています。そして、ピエ戯曲の詩的な美しさを体現するため、いかに言葉や身体を巧みに支配するかという従来の演劇の概念からの脱却を目指し、「弱い演劇」という新たな境地へと歩みを進めました。俳優は自身の身体をこの上なく弱いものとして扱い、そこから発せられる無垢な言葉が、観客の心と身体の奥深くまで染み入るのです。

また、大きな見どころである真っ白な折り紙をモチーフとした舞台美術、俳優の生演奏による音楽や歌とともに、絵本のページをめくるような演出が、大人も子どもも魅了します。

強いものが弱いものを支配し、世界では強いものがますます強くなるようにしている昨今、あえて「弱さ」に目を向けることは日常に溢れる数々の奇跡に気づくことでもあります。演劇の新たな境地を切り拓く本作に、是非ご期待ください。

■あらすじ

「風車小屋のうらにあるものをくれれば金持ちにしてやろう」。悪魔にそう言われた父親は、お金に目がくらんでその提案を受け入れてしまう。でもそのとき風車小屋のうらでは、父親のひとり娘が洗濯物を干していた。悪魔の仕業で両手を失った娘は旅に出て…。

●公演についてのお問い合わせならびに取材のご希望は「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報:計見」までお願いいたします。

舞台芸術公園 Tel: 054-208-4008 / Fax: 054-203-5732 / E-mail: keimi@spac.or.jp

【演出家プロフィール】 宮城聡(みやぎ・さとし)



1959年東京生まれ。東京大学で演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。14年アヴィニョン演劇祭から招聘された『マハーバーラタ』の成功を受け、17年『アンティゴネ』を同演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演。アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。平成29年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。

【劇作家プロフィール】 オリヴィエ・ピエ Olivier PY



劇作家、演出家、俳優。1965年、南仏グラース生まれ。87年にパリ国立高等演劇学校(コンセルヴァトワール)に入学、並行してカトリック学院で神学と哲学を学ぶ。95年、アヴィニョン演劇祭で上演時間24時間という異例の作品『常夜灯一果てしない物語』の7日間連続上演を敢行し、一躍脚光を浴びる。98年から2007年までオルレアン国立演劇センターの芸術監督、同年3月から12年までパリ・オデオン座の芸術総監督を務める。13年、アヴィニョン演劇祭のディレクターに就任。SPACではこれまでに『イリュージョン・コミック舞台は夢』、『若き俳優への手紙』(08年)、『グリム童話』3部作(09年)、『オリヴィエ・ピエの『<完全版>ロミオとジュリエット』(12年)、ピエ自身によるシャンソンライブ『ミス・ナイフ、オリヴィエ・ピエを歌う』(14年)、『少女と悪魔と風車小屋』(16年)を上演。現代フランスを代表する劇作家・演出家のひとり。

チケット 好評発売中!

<全席指定>

一般:4,200円 / ペア割引:3,700円(2名様で1枚につき)

ゆうゆう割引:3,500円[満60歳以上]

学生割引:2,000円[大学生・専門学校生]/1,000円[高校生以下]

ファミリー割引:高校生以下を同伴の大人1名につき3,300円

※その他、グループ割引、障がい者割引がございます。

チケットお取扱い

SPAC チケットセンター TEL:054-202-3399(10:00~18:00)

公式サイト、劇場窓口でもご購入いただけます。

主催・お問い合わせ

SPAC-静岡県舞台芸術センター

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

TEL:054-203-5730 FAX:054-203-5732

E-mail:mail@spac.or.jp SPAC 公式サイト:https://spac.or.jp

●公演についてのお問い合わせならびに取材のご希望は「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報:計見」までお願いいたします。

舞台芸術公園 Tel:054-208-4008 / Fax:054-203-5732 / E-mail:keimi@spac.or.jp

【会期中のイベント】

◆アーティストトーク 宮城聡とゲストによるトーク

1月18日(土)

那須田淳氏(作家)、平田オリザ氏(劇作家・演出家)

1月19日(日)

茂木健一郎氏(脳科学者、作家)

◆プレトーク 一般公演日の開演25分前より

舞台をよりおもしろく観劇できるポイントをご紹介します。

◆はじめての演劇鑑賞講座 1月25日(土) 12:30~13:30

講師:中野真希(演出補)[参加無料/要予約]

◆バックステージツアー

1月25日(土)・2月1日(土)・2日(日)終演後

創作・技術部スタッフが舞台裏をご案内♪[参加無料/要予約]

◆新企画! 宮城聡のQ&A

1月25日(土)・2月1日(土)・2日(日) 終演後

宮城聡があなたの質問にお答えします。質問の内容は、作品についてでもそれ以外のことでも、なんでもOK! 普段は聞けないあんなことやこんなことを質問してみませんか?

[参加無料/開催場所:1Fロビー]

◆折り紙わーくしょっぷ 鳥の音楽隊の帽子を作ろう!

舞台でも実際に使われる帽子を、折り紙で作ってみませんか?

1月25日(土) 10:30~12:00

講師:深沢襟(舞台美術家)

対象:小学生以上 参加費:500円 定員:20名

会場:静岡芸術劇場2階 カフェ・シンデレラ

※1月12日に浜松市・鳴江アートセンターでも開催します!

◎イベントお申込み先・・・SPAC チケットセンター TEL:054-202-3399



©Y.Inokuma

2012年の公演より

著作権代理 (株)フランス著作権事務所

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会